

以跨文化溝通能力培育為主之華日翻譯教材開發

賴錦雀

東吳大學日本語文學系教授

摘要

在重視學生核心能力的 21 世紀，培養翻譯能力的課程乃是日本語文學系的重要科目之一。本論文以東吳大學中日翻譯實務課程教材《華日翻譯》為對象，說明教材開發的背景及教材內容。《華日翻譯》以台灣事務為主，內容包含單字、搭配詞、成語・慣用語、句型、文章等單元，課程活動中並佐以台日文化比較觀點的副教材，以深化學生之跨文化理解能力。期待以區域別日語教育學理念為主，重視全球在地化的華日翻譯教材，對於國人培育台日交流人才之教學活動能夠有所助益。

關鍵詞：區域別日語教育學，全球在地化，《華日翻譯》，教材開發，溝通能力

異文化交流能力育成のための中日翻訳教材開発

頼錦雀

東呉大学日本語文学系教授

要旨

学生のキー・コンピテンシー育成を重視する 21 世紀において、翻訳能力を養成する授業は日本語文学科の重要な科目の一つである。本論文は東呉大学中日翻訳実務科目の教材『華日翻譯』を対象に、教材開発の背景と教材の内容について述べる。『華日翻譯』は台湾事情を中心にした教材であるが、コロケーションを含めた単語篇、成語・慣用語篇、文型篇、文章篇からなっている。授業中、台日文化比較の観点による副教材の PPT を利用して、学生の台日異文化理解能力の向上を図る。このような、地域別日本語教育学の理念及びグローカル化の重要性が主張される教材は台日交流人材育成に貢献できればと庶幾する。

キーワード：地域別日本語教育学、グローカル化、『華日翻譯』、教材開発、コミュニケーション能力

Development of Chinese-Japanese translation materials For communication ability training

Lai, Jiin- chiueh

Professor, Soochow University, Taiwan

Abstract

In the 21st century, which values students' core competencies, the course of developing translation skills is one of the important subjects of the Department of Japanese Language and Culture. The main purpose of this paper is to describe the development background and content of the textbook "Chinese-Japanese, Translation" of 'Practice in Chinese-Japanese translation' of Soochow University.

"Chinese-Japanese Translation" is mainly based on Taiwan affairs. The content includes words, collocations, idioms, sentence patterns, articles, etc. The PPT in the course activities are based on comparative perspectives of Taiwanese and Japanese cultures to deepen students' cross-cultural understanding. It is expected that the teaching materials based on the regional Japanese language education philosophy and the emphasis on global localization is helpful to train the exchange talents between Taiwan and Japan.

Key words: Regional Japanese Language Education, Glocalization, "Chinese-Japanese Translation, Development of teaching Materials, Communication ability.

異文化交流能力育成のための中日翻訳教材開発

頼錦雀

東呉大学日本語文学系教授

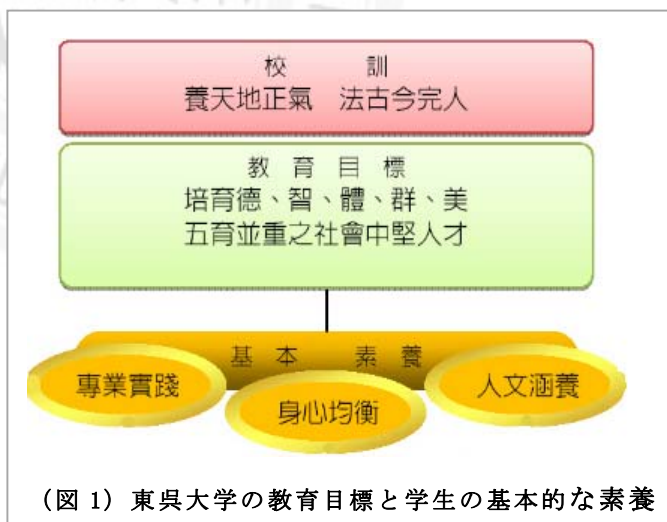
1. はじめに

台湾教育部は 2013 年に「転型と突破」と題する『人材育成白書』にく全球移動力、就業力、創新力、跨域力、資訊力、公民力＞という 6 つのキー・コンピテンシーを提出したが、2014 年に新たに学習者の学習成果を高めるために＜基礎力、國際力、就業力、創新力、教學力、服務力、跨域力＞の 7 つのキー・コンピテンシー（7 力）を発表した。東呉大学は優れた教育と専門性をもつ研究を行っている大学であるが、「養天地正氣，法古今完人」というモットーの下で、「德育、智育、体育、群育、美育」を教育目標として、健全な心身、専門的な実践能力、人文的な素養を学生の基本的な素養としている（図 1 参照）。

上述した基本的な素養には共通の基本能力、専門的な基本能力と社会的な能力が必要であるが、各学科の主な任務は専門的な基本能力育成にある。そして、それぞれの能力育成には重要目標達成指標

（KPI。Key Performance Indicator）が設けられている。日本語文学系の KPI

は次の表のようになっているが、それは教育部のキー・コンピテンシーと東呉大学の方針に合っていると思われる。



(表 1) 東吳大学日本語文学系の重要目標達成指標

具備日語聽解能力	日本語の聽解能力がある。
具備日語口語表達能力	日本語の發話能力がある。
具備日語讀解能力	日本語の読解能力がある。
具備日語寫作能力	日本語の書写能力がある。
具備日語翻譯及口譯能力	日本語の翻訳・通訳能力がある。
具備日本文人文社會相關知識	日本に関する人文社会知識がある。
具備商務相關知識	商務に関する知識がある。
具備國際視野與跨文化溝通能力	國際的視野を持ち、異文化交流能力がある。

東吳大学日本語文学系のカリキュラムを見てみると、聽解訓練、読解訓練、發話訓練、書写訓練と共に、翻訳・通訳訓練の科目があり、そして、各技能に必要とされる知識を伝授するために日本語学・日本語教育科目群、日本文学科目群、日本文化科目群の選択科目が設けられている。翻訳ではそれぞれの教育目標、授業内容と翻訳技法が違うので「日中翻訳実務」と「中日翻訳実務」が別々の科目になっている。

(表 2) 東吳大学日本語文学科カリキュラム (2018 学年度)

必修科目			選択科目			
	科目名	年次	科目名稱	年次	科目名稱	年次
聽解	日語聽力訓練 (一)	一	日本語發音	一	日本故事選	二
	日語聽力訓練 (二)	二	日語語法專題	三	日本小説選讀	三
	日語聽力訓練 (三)	三	日語會話 (四)	四	日本近代文學史	三
讀解	初級日語	一	中日翻譯實務	四	日本名著選讀	四
	中級日語	二	日語口譯	四	日本古典文學	四
	高級日語	三	現代日本應用文	四	日本古典文學史	四
發話	日語會話 (一)	一	商務日語	四	日本概論	一
	日語會話 (二)	二	媒體日文	四	日本歷史	二
	日語會話 (三)	三	旅遊產業日語	四	日本地理	二
書写	日文習作 (一)	二	高階日語	四	日本現勢	三
	日文習作 (二)	三	日本語研究	四	日本文化概論	三
翻譯	日中翻譯實務	三	日語資訊處理	三	日本文化專題	四
文法	日語語法 (一)	一	語言學概論	三	日本文化與職場運用	四
	日語語法 (二)	二	商用英文	四		
			研究方法指導	四		

このような東呉大学日本語文学系のカリキュラムは日本語による異文化理解能力、異文化交流能力の育成において理想に近いものと言えようが、しかし、地域別日本語教育学¹の観点から見た場合、社会文脈化に基づく日本語指導はもっと力を入れなければならないと思われる。現在、台湾の外国語教育は言語形式だけではなく、異文化交流能力育成のための教育が重視され、外国語による自文化、母文化の表現能力の育成にますます重きが置かれるようになっている。日本語教育も同じである²。そして、言語文化教育³の一環としての、台湾における日本語教育では日本語の言語形式の理解、受容の教育のみならず、日本語産出の教育も大事である。特に、身に付けた日本語で母語・母文化のことを翻訳する作業によって、「分かる」から「できる」へ、という喜びや達成感が得られるので、中日翻訳の授業による訓練が重要なことである。

本発表では東呉大学日本語文学系における「中日翻譯實務」科目及びその教材『華日翻譯』を例に、日本語教育における異文化交流能力育成のための教育とその教材開発について述べる。

2. 『華日翻譯』の開発の背景

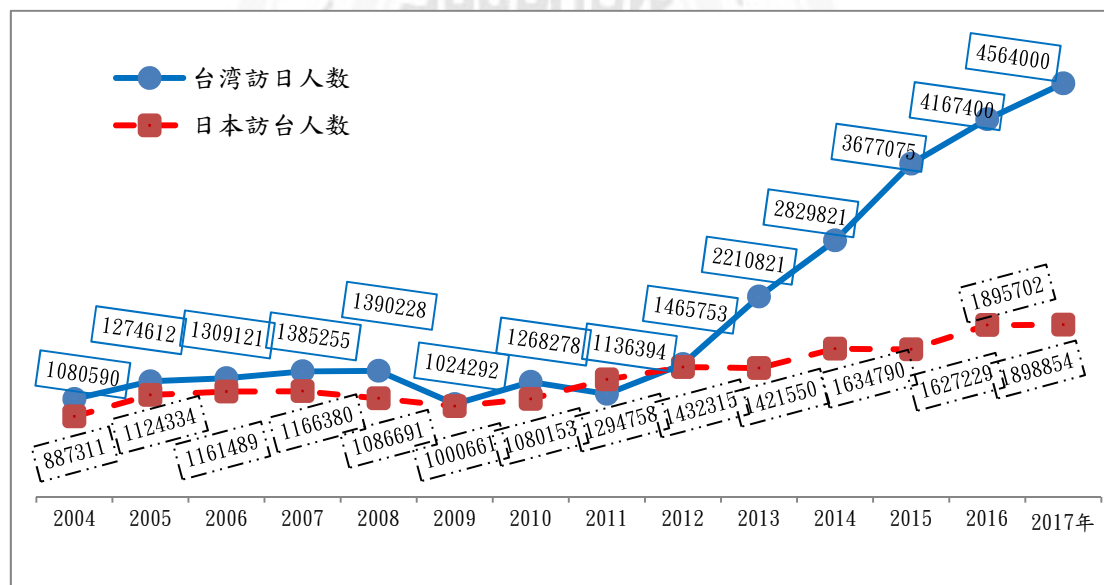
言語能力は聴解力、発話力、読解力、書写力に分かれるが、訳す能力の通訳力、翻訳力も大事である。言語による異文化交流能力には異文化理解能力と母文化を外国語で表現する能力が不可欠であるので、通訳力、翻訳力の育成も重要である。しかし、一般的に言えば、日本語文学科の授業では日本側の情報理解に重きが置かれ、母

¹ 学習者の生活環境を考慮に入れて日本語教育を考えるべく、筆者は1996年に「地域別日本語教育学」を唱えた。

² 日本語教育における自文化について、詳しくは林（2014、2016）、頼（2018）を参照されたい。

³ 縫部（2001）が述べているように、言語文化教育とは、言語教師が言語的・非言語的手段によって表現・伝達された言語、文化を教授し、学習者がそれを学習する過程を通して、最終的には己のあり方を確立することであり、その目的は言語と文化の教授・学習・伝達・認識の醸成に関わる活動と過程を客観的に捉え、そのメカニズムを解明すること、この言語と文化の教授・学習を通して人間的成長・発達がどのように達成されるかを探求することである。

語や母文化の日本語表現能力育成はまだ努力の余地があるように思われる。台湾と日本は地理的・歴史的要因によって密接な交流が行われている。台湾各地には日本人配偶者がいて（表 3 参照）、そして、2017 年における台日間の人的交流は 600 万人を超えている（図 2 参照）ことを考えても、台湾人学習者にとって、台湾のことを理解し、それを日本語で表現することを学ぶ必要がある。しかし、台湾で日本語翻訳といえば、日本語を中国語に訳すことだと思われることが多いし、市販されている翻訳教材も日中翻訳のためのものが多いようである。勿論、台湾本土の情報を日本語で紹介する教材は皆無ではないが、中日翻訳教材の多くは台湾本土の要素が欠けているようである。台日異文化交流能力育成の観点から見れば、台湾人学習者のための中日翻訳の教材開発が要務だと思われる。



（図 2）台湾と日本の人的交流

（台湾観光局、日本観光局の資料によって筆者作成）

(表 3) 台湾での日本人配偶者(1987 年 1 月－2017 年 12 月)

都市別	男	女	計	都市別	男	女	計	都市別	男	女	計
新北市	445	489	934	苗栗縣	15	14	29	澎湖縣	3	1	4
臺北市	664	872	1536	彰化縣	27	39	66	基隆市	30	26	56
桃園市	178	172	350	南投縣	18	7	25	新竹市	50	109	164
臺中市	226	244	470	雲林縣	14	33	47	嘉義市	11	11	22
臺南市	134	102	236	嘉義縣	9	8	17	金門縣	1	2	3
高雄市	266	192	458	屏東縣	26	26	52	連江縣	0	0	0
宜蘭縣	28	16	44	臺東縣	19	7	26	合計	2235	2434	4674
新竹縣	30	52	82	花蓮縣	41	12	53				

(内政部移民署資料統計によって筆者作成)

3. 教育目標

上述したように、東呉大学日本語文学系の重要目標達成指標(KPI)は日本語の聴解力、発話力、読解力、書写力、翻訳・通訳力及び日本に関連する人文社会知識と商務知識、国際的な視野、異文化交流能力である。筆者は 2002 年から「中日翻訳実務」⁴という科目を担当してきたが、最初から「商務知識」を除いた上述の目標を目指して自作教材を使っている。言語形式も文化的要素も重要であるし、学習者の卒業後の進路支援や継続学習のための自律学習精神の強化もしたいし、時代性のことを考慮に入れて、毎年新しい内容を入れるようにいろいろ試行錯誤でチャレンジしてきた。2018 年 9 月現在で使っている自作教材『華日翻譯』は「前言、語詞篇、成語・慣用語篇、句型篇、文章篇」からなっている。別用意の宿題用文章の外に、台日文化比較の視点による副教材も用意している。教材作成の基本方針は学習者のこれまでの日本語学習成果の自己確認、中日翻訳の基礎造り、自律学習精神の強化と卒業後の進路支援である。そして、

⁴ もともとの科目名は「翻訳実務」であったが、日本語を中国語に訳す「日語翻訳」と区別して、授業内容は中国語を日本語に訳すことに決められている。2018 学年度では「中日翻訳実務」という科目名である。

學習者能自律學習できるように、語彙、成語、文型、文章の各部門で対訳の形で中国語の原文と日本語の参考訳を提供する。授業中、學習者が予習した内容の確認のほかに、副教材として台日比較文化の視点によって作られた言語文化関係の PPT を提示する。このような教材を通して學生が優れた台日交流能力を身に付けることができれば、と期待している。

4. 『華日翻譯』の概要

2018 年版の自作教材『華日翻譯』の内容は次のようである。

(表 4) 賴錦雀編著『華日翻譯』(2018 年版) 目次

一、前言 4		
翻譯長才搭起華日友誼的橋樑 4		
二、語詞篇 6		
(一)語詞的省略 6	(二)語詞的增補 7	(三)詞類的轉換 7
(四)擬聲詞・擬態詞 8	(五)數字 10	(六)語詞搭配 12
三、成語・慣用語篇 17		
(一)上進篇 17	(二)工作篇 18	(三)政治篇 20
(四)經濟篇 22	(五)創作篇 23	(六)計謀篇 24
(七)戰爭篇 27	(八)團體篇 28	(九)待人接物篇 30
(十)事態篇 32	(十一)天意宿命篇 34	(十二)變化虛實篇 35
(十三)曉喻褒貶篇 36	(十四)安危成敗篇 40	(十五)辛勞篇 42
(十六)人情篇 44	(十七)生活篇 46	(十八)災禍罪惡篇 47
(十九)儀表舉止篇 49	(二十)心性篇 51	(二十一)言論篇 52
(二十二)男女篇 55	(二十三)動植物篇 57	(二十四)自然篇 60
四、句型篇 62		
(一)表「肯定」的句型 62	(二)表「否定」的句型 63	【練習 1】64
(三)表「疑問」的句型 65	(四)表「反問」的句型 66	【練習 2】67
(五)表「斷定」的句型 68	(六)表「判斷・見解」的句型 69	
(七)表「推量・估計」的句型 72	(八)表「結果」的句型 76	【練習 3】74
(九)表「假定」的句型 77	(十)表「傾向」的句型 81	【練習 4】80
(十一)表「轉變」的句型 82		【練習 5】83
(十二)表「同時」的句型 84	(十三)表「共同」的句型 84	
(十四)表「相同」的句型 85		【練習 6】86
(十五)表「可能」的句型 87	(十六)表「原因」的句型 88	
(十七)表「比較」的句型 89		【練習 7】91
(十八)表「根據」的句型 92	(十九)表「排除」的句型 93	
(二十)表「傳聞」的句型 94		【練習 8】95
(二十一)表「目的・目標」的句型 96	(二十二)表「程度」的句型 96	
(二十三)表「限定」的句型 99	(二十四)表「意圖・打算」的句型 100	
		【練習 9】102
(二十五)表「條件」的句型 103	(二十六)表「接續」的句型 104	

(二十七)表「並列」的句型	105	(二十八)表「選擇」的句型	105
(二十九)表「添加」的句型	106	【練習 10】	106
(三十)表「比喻」的句型	107	(三十一)表「評斷」的句型	107
(三十二)表「時間」的句型	108	【練習 11】	110
(三十三)表「手段」的句型	110	(三十四)表「義務」的句型	111
(三十五)表「被動」的句型	111	(三十六)表「使役」的句型	112
(三十七)表「禁止・命令」的句型	112	(三十八)表「希望・感動」的句型	113
		【練習 12】	114
		【綜合練習】	115

五、文章篇 116

(一)全球首例 澳洲小鎮禁售瓶裝水	116
(二)北市公車站蔡英文	117
(三)民間投資案	118
(四)東吳大學日本語文學系簡介	118
(五)有關日本首相參拜靖國神社外交部聲明稿	120
(六)安倍經濟學—三支箭	122
(七)公告	124
(八)陳澄波畫作事件	126
(九)拖鞋	127
(十)巴士的方向	128
(十一)飲食男女 李安 原作	130
(十二)台灣小吃	132
(十三)2017 年夏季世界大學運動會	133
(十四)戰士！乾杯！ 黃春明 作 下村作次郎 譯	134
(十五)展覽會開幕致詞稿	140
(十六)請柬	140
(十七)研討會開幕典禮致詞稿	142
(十八)演講比賽司儀稿	144
(十九)2014 年訪日外國人台灣居第一	148
(二十)2018 年 6 月來台旅客數量	150
(二十一)2017 年日本觀光動向	152
(二十二)結婚活動	154
(二十三)詩 陳秀喜・詹冰・趙天儀 等	156
(二十四)廚房 吉本バナナ	160
(二十五)馬蹄聲已遠 韻律卻猶存 王昶雄 作 賴錦雀中譯	162
(二十六)台北美術館 王昶雄 作 賴錦雀中譯	164
(二十七)好個翹課天 郭箏 作 坂本志げ子 譯	170
(二十八)金水壩 王拓 作 三木直大 譯	174
(二十九)兒子的大玩偶 黃春明 作 山口守 譯	178
(三十)迷園 李昂 作 桜庭ゆみ子 譯	180
(三十一)告密者 李喬 作 下村作次郎 譯	184
(三十二)蘋果的滋味 黃春明 作 福田桂二 譯	188
(三十三)安安的假期 朱天文 作 田村志津枝 譯	194
(三十四)外婆家的暑假 朱天文 作 田村志津枝 譯	196
(三十五)台灣的重要課題 鄭寶村 作 林呈蓉 譯	198
(三十六)臺灣文學研究之樂 河原功 作	200
(三十七)兩岸三地文學再相逢 齊邦媛 作 池上貞子・神谷まり子 譯	202

4.1 「前言」の部

「前言」という端書の部では、台湾における日本語翻訳人材の役割を説明し、21世紀の台日交流の架け橋になるように学習者を励ますほか、中日翻訳の注意点として、中国語理解能力の向上、日本語表現能力の向上、辞書などの道具の活用、翻訳手順の留意点、翻訳技法の訓練の重要性を提示する。

4.2 「語詞篇」の部

「語詞篇」は、下位分類として言葉の省略、言葉の添加、言葉の転換、オノマトペ、数字、コロケーションの部を設けた。例を見てみよう。

4.2.1 言葉の省略

(1) 「賽德克・巴萊」是一部很有歷史價值的電影。

セデック・バレーは歴史的価値のある映画だ。

(2) 台南有一個地方發生了一件奇怪的中毒事件。

台南のあるところで、おかしい中毒事件が起こった。

(3) 請你仔細地加以說明。

詳しく説明してください。

例(1)(2)のように、中国語の「一部」「一個」「一件」は日本語訳では略されている。そして、例(3)では「加以説明」の「加以」と「你」は略されている。数詞表現や授受表現の人称代名詞使用の違いは台湾人学習者にとって中日翻訳における難関の一つなので要注意である。

4.2.2 言葉の添加

(4) 有事請通知我。

何かあつたら、知らせてください。

(5) 公害問題我不太清楚。

公害問題についてあまり知りません。

「条件、仮定」や「ある事柄に関してその範囲をそれと限定する」意味は中国語では言語形式がなくても前後の文脈で分かるが、日本語ではそれに当たる言語形式が要求される。

4.2.3 品詞性の変換

(6) 為了事業犧牲了家人。

事業のために家族を犠牲にした。

(7) 干涉人事問題。

人事に干涉する。

(8) 緊張的時刻終於結束了。

緊張した一時はやっと終わった。

中国語では「犠牲」は名詞としても動詞としても用いられるのに対して、日本語では名詞の用法しかない。「干涉」は中国語では目的語と共起する他動詞であるのに対して、日本語の「干涉する」は人か物事に関わっていることを表す意味であるので、「を」ではなく、「に」という格助詞と共起する。そして、中国語「緊張」は形容詞として働くが、日本語では「緊張する、緊張した」の形で状態を表す。このような意味の違いによって、中日翻訳の作業において言葉の変換が必要である。

4.2.4 オノマトペ

和語が多い日本語のオノマトペは中国語と共通要素があまりない。中国語のオノマトペは日本語に訳すのが難しいので、翻訳する前にその意味と用法を身に付けるのが重要なポイントである。

(9) 白皚皚的月光。

きらきら光っている月。

(10)一堆白花花の銀子。

ぴかぴかした銀貨の山。

(11)濕漉漉の襯衫。

じとじとしたシャツ。

(12)黒漆漆の房間。

真っ暗な部屋。

4.2.5 数字

「一無所長」「二話不説」「三天兩頭」「四壁蕭條」「五顔六色」「歪七扭八」「九霄雲外」のような数字による中国語表現を日本語に訳してみると数字にならないので、中日両語の異同はだいぶ違っている。

(13)一無所長。

何も得意なものはない。

(14)一轉眼已經是四年級了。

あっという間にもう四年生になった。

(15)二八年華

16歳の娘盛りだ。

(16)他二話不説，拿起拖把就開始拖地。

彼はなにも喋らずに、モップを手にして床を拭き始めた。

(17)不可以説三字經。

汚いことばを口にしてはいけない。

(18)那小子三天兩頭就跑來我家，真傷腦筋！

あいつしょっちゅう家に来て、ほんとに困ったなあ。

(19)四壁蕭條，生活清苦。

とても貧乏で、生活が貧しい。

(20)不為五斗米折腰。

(五斗の米というぐらいの) 僅かな俸禄のために腰を曲げはし

ない。

(21)大家穿著五顏六色的新裝。

みんな、色とりどりの新しい服を着ている。

(22)緊張得七上八下。

緊張して胸がドキドキする。

(23)把不愉快的事忘到九霄雲外吧！

不愉快なことをきれいさっぱり忘れよう。

4.2.6 コロケーション

「雨に濡れた」「草が枯れる」「煙突がつまった」「煙が目にしみた」「柱で支える」「日が暮れた」のように、単語よりもコロケーションの形で覚えたほうが日本語表現能力の向上に繋がると思われるので、『華日翻譯』「語詞編」ではコロケーションの部門を設け、シソーラス式で自然、土地、時間、物理、鉱物、動物、植物、食物、服飾、場所、生活道具、生産道具、生理、家族、宗教、社会、経済に関するコロケーションの中日翻訳例を挙げている。学習者はそれによって意味と言語形式を復習したり学習したりすることができる。

4.3 「成語・慣用句篇」の部

成語と慣用句は言語社会の文化を表すものである。その一部は中日両語における表現形式が全然違うものである。よりよい日本語能力を求めるには避けてはならない部門なので『華日翻譯』に「上進篇」「工作篇」「政治篇」「經濟篇」「創作篇」「計謀篇」「戦争篇」「團體篇」「待人接物篇」「事態篇」「天意宿命篇」「變化虚實篇」「曉喻褒貶篇」「安危成敗篇」「辛勞篇」「人情篇」「生活篇」「災禍罪惡」「儀表舉止篇」「心性篇」「言論篇」「男女篇」「動植物篇」「自然篇」を設けた。五十音順ではなく、意味類型による配列なので、類義表現の比較もできるはずである。例を見てみよう。

(24) 上進篇

【百尺竿頭】百尺竿頭。一步を進める。

(25) 工作篇

【忙得不可開交】盆と正月が一緒に来たよう。

(26) 政治篇

【不怕官只怕管】役人が怖いのではなく、その権力が怖い。

(27) 經濟篇

【不折不扣】正真正銘の～。

(28) 創作篇

【著作等身】著作がとても多いこと。

(29) 計謀篇

【做手腳】不正を働く。

(30) 戰爭篇

【當局者迷旁觀者清】岡目八目。

(31) 團體篇

【不甘後人】負けず嫌い。

(32) 人情篇

【千里姻緣一線牽】愛縁奇縁。

(33) 儀表舉止篇

【閉月羞花】絶世の美人。

(34) 男女篇

【情人眼裡出西施】惚れた目には痘痕もえくぼ。

(35) 動植物篇

【龍生龍、鳳生鳳、老鼠的兒子會打洞】蛙の子は蛙。

【藕斷絲連】腐れ縁が切れない。

4.4 「句型篇」の部

単語やコロケーション、成語、慣用句などのものを身に付けても正しい表現ができないと優れた日本語力の育成ができかねるので、文型の強化が必要である。『華日翻譯』では『日本語表現文型 中

級』(寺村秀夫、1983、凡人社)を参考に、次のような文型を設けた。「肯定」「否定」「疑問」「反問」「斷定」「判斷・見解」「推量・估計」「結果」「假定」「傾向」「轉變」「同時」「共同」「相同」「可能」「原因」「比較」「根據」「排除」「傳聞」「目的・目標」「程度」「限定」「意圖・打算」「條件」「接續」「並列」「選擇」「添加」「比喻」「評斷」「時間」「手段」「義務」「被動」「使役」「禁止・命令」「希望・感動」のような文型を設けた。例文はできるだけ台湾や大学四年生に関係するものにする。

- (36) (名詞) 是 (名詞) …は…だ／です／である／であります。

台灣是一個主權獨立的國家，也是民主自由的國家。

台灣は主權獨立の国であり、自由民主の国でもある。

- (37) 要十動詞 ……をする。

我們全家下星期六要去宜蘭觀賞鯨豚。

来週の土曜日、うちは家族そろって宜蘭へ海豚を見に行く。

- (38) 能十動詞 ……することができる。

度假打工可以容易取得簽證，也能在當地工作。這對想在海外生活的人來說，是個求之不得的機會

ワーキングホリデーはビザも簡単に取れ、現地で働くこともできる。これは海外で生活したいと思っている人にとっては願ってもないチャンスです。

- (39) 難怪……。 ……も無理はない。

物價高漲，難怪主婦們個個愁眉苦臉。

物価高騰で、主婦たちが苦虫を噛み潰したような顔をするのも無理はない。

- (40) 有可能……。 ……可能性がある。

冠母姓的人，有可能因為是母子家庭或是婚姻協定。

母方の姓を名乗る人には、母子家庭、婚姻協定という理由にあてはまる可能性がある。

- (41) 沒想到……。 ……とは思わなかった。

沒想到空氣污染的問題會這麼嚴重。

空氣污染がそんなにひどいとは思わなかった。

- (42) 和……沒有兩樣 ……と変わりはない。

沒有經過允許而沒來上課，和翹課沒有兩樣。

許可なしに授業に出なかったのは、サボったのと変わりはない。

- (43) 因此 による

戒嚴令解除之後，台灣的街頭運動興起，因此加速了政府的改革。

戒嚴令解除後、台湾では街頭運動が盛んに沸き起こり、これによって政府の改革が早められた。

- (44) 照理 ……はずだ。

她多次擔任過會議主席，照理說應該能力很強才對。

彼女は何回も議長の役を務めたから能力が優れているはずだ。

- (45) 歸咎…… ……のせいである。

用功不夠，沒找到理想的工作，要歸咎誰呢？

勉強不足で理想的な仕事が見つからなかったのは、誰のせいですか。

- (46) 和……相較之下 ……と比べると ……と比べれば

和日本的的大學生相較之下，台灣的大學生比較缺乏自主性嗎？

日本の大学生に比べれば、台湾の大学生が自立精神が欠けているのでしょうか。

- (47) 無法和……相比 ……と比べ物にならない。

有關日本文學方面的知識，我無法和邱先生相比。

日本文学に対する知識に関しては、邱さんと比べ物にならない。

- (48) 姑且不論 ……はさておき

姑且不論你和他有什麼過節，既然一起工作就要好好合作才行。

二人の間の溝はさておき、一緒に仕事をする以上、協力して

やるべきだ。

- (49) 過於 ……のあまり

對中國投資過於熱中而忽略了國內市場。

中国に対する投資熱のあまり国内市場を疎かにした。

- (50) 幾乎 ……んばかりだ。

聽到及格的消息，樂得幾乎要跳起來。

合格だと聞いて、嬉しくて飛び上がらんばかりだった。

- (51) 只能 ……以外にない。

我是個學生，沒有經濟能力，只能在精神上支持你。

私は学生で経済力がないので、やって上げられるのは精神的支援以外にない。

- (52) 惟有 ……に限って

大家都贊成我去日本深造，惟有爺爺反對。他堅持說：女孩子不必唸太多書。

お爺ちゃんに限って、私の日本留学に賛成してくれない。女の子だからあまり勉強しなくていいと言い張るのだ。

- (53) 預備 ……予定だ。

很多應屆畢業生都拼命地努力用功並且積極地收集就業資訊，預備畢業後大大的發揮自己所長。

多くの今年の卒業生はよく勉強し、また就職情報収集に取り組んで、卒業後大いに自分の能力を発揮する予定だ。

- (54) 一心一意 ……余念なく

為了生態環境，一心一意地反對建設橫貫道路。

生態環境保全のために、余念なく横断道路開発反対運動に励んでいる。

- (55) 先決條件是 …… . ……が先決だ。

實施住者有其屋政策的先決條件是要興建大量的平價國宅。

全民住宅ありという政策を実施するには、大量の安価国民住宅を建てるのが先決だ。

- (56) 擁有 …… ……ある/有する/持つ。

這家旅店，在台灣的新興度假村中，是少數擁有五顆星等級殊

榮的飯店。

このホテルは、台湾で最近よく見るリゾート施設の中でもファイブスターという名誉ある指定を受けた数少ない宿泊施設だ。

(57) …也好…也好 …であれ…であれ

男人也好女人也好都要有養活自己的經濟能力，才不會拖累別人。

男であれ、女であれ、自分を養うような経済力を持たなければ、人に迷惑をかけることになる。

(58) 不僅 而且 ……のみならず

她不僅自己參加老鼠會，還拉了很多親朋好友入會。

彼女は自分がネズミ講に入ったのみならず、親戚や友人を何人も入会に誘った。

(59) 不愧…… さすがに……だけあって

不愧是現代的蘇活族，不必天天早出晚歸。

さすがに現代のソーホー族だけあって、毎日、朝早く出て夜遅く帰ることもない。

(60) 剛……就……かと思うと

梅雨時期，雨剛停馬上又滄滄地下將起來。

梅雨時、雨が止んだかと思うと、またしとしと降り始めた。

なお、文型の部においては練習も設けてあるので学習者は自律学習の成果を確認することができる。

4.5 「文章篇」の部

文章の部では大学関係（東呉大学日本語文学系の紹介、司会者の台詞）、日常生活（ペットボトル、バス停標識、招待状、婚活、台湾の重要課題）、台日関係（日本首相の靖国神社参拝、台湾訪日人数）、台湾の出来事（陳澄波絵画盗難事件、2017年夏季世界大学運動會、スリッパ）、経済（民間投資案、アベノミクス）、文化（バス停標識、バスの方向）、飲食（グルメ、レシピ、飲食男女）、文学作品（黄春

明著・下村作次郎訳「戦士!乾杯!」、郭箏著・坂本志げ子訳「好個翹課天」、王拓著・三木直大訳「金水壩」、黄春明著・山口守訳「兒子的大玩偶」、李昂著・桜庭ゆみ子訳「迷園」、李喬著・下村作次郎訳「告密者」、黄春明著・福田桂二訳「蘋果的滋味」等)などの文章を選んで、中国語原文は左頁、日本語参考訳は右頁、というような対訳の形で提示した(表5参照)。授業時間に比べて量が多いが、学習者の自律学習精神の強化ができるように工夫した。

(表5)『華日翻譯』文章編

戦士!乾杯!	戦士、乾杯!
<p style="text-align: center;">黄春明</p> <p>近代史上、說一個家族，或是一個社會，一個國家，他們的四代男人，為自己的國家、民族，代代都當了兵去打仗的情形，大概已經不多見了。可是，說一個家族、一個社會，他們的四代男人，除了當自己部族的勇士去抵禦外敵，不是當了侵略者異族的士兵去。為敵人打另外一個敵人的敵人，就是每一代一甚至於不到一代之間，又換了侵略者，當了別人的戰士，去跟一個根本和他們無冤無仇的人，把他們當作不共戴天的敵人敵對起來。這般荒謬的情形，在今天這個世界裡，恐怕更難找到了吧。</p> <p style="text-align: right;">(左頁)</p>	<p style="text-align: right;">下村作次郎 訳</p> <p>近代になると、ひとつの家族、あるいはひとつの共同体や国家において、男たちが国家や民族のために四世代にわたり代々兵士となって戦争に行くようなことは、もうそれほど多く見られない。ところが、ひとつの家族、ひとつの共同体の中で、男たちが四世代にわたって部族のために勇士として外敵に立ちむかい、その上侵略者である異民族のために兵士となって別の敵を相手に戦い、時には世代ごとに、ひどい場合には一代もたたないうちに侵略者が変わり、さらにその侵略者の戦士となってなんの恨みもない人びとを不倶戴天の敵として戦った例がある。こんな不条理なことは、今日の世界ではきわめて珍しいことだ。</p> <p style="text-align: right;">(右頁)</p>

4.6 副教材のねらいと内容

翻訳というのは起点言語を目標言語に変換するだけの作業ではない。それは再創作であり、異文化交流の作業でもある。ゆえに、授業中、学習者の予習した文章の確認を兼ねて、翻訳人材育成、台

湾の言語景観、台湾における日本語景観、翻訳と文化（神社と廟、バスの方向、飲食文化）のような副教材の PPT を作って説明を工夫した。なお、最近、A I が注目されているが、日本語力をしっかり身につける必要性を学生に認識させるために。下表のように例を多く挙げて翻訳機械を用いた中日翻訳の注意点を提示する。

（表 5） 中日翻訳と機械翻訳

老師生氣了 詹冰	先生が怒った	
老師生氣了 紅紅的臉 大大的眼睛 歪斜的嘴 凸起皺紋的前額 雷公似的罵聲 全班的同學都不敢動— 我心裡在想 如果拿一面鏡子給老師照一照 老師一定會哈哈大笑	先生ははにかまない大きい目のゆがんだ口の凸の皺のひたいの雷神の似た罵声全便の同級生は全て動きかねて赤いものは怒って— 一面の鏡で先生に先生を照らしてきつともし大笑いすることができて私の心の中は考えている (https://translate.webl.io/chinese/)	1
老師生氣了 紅紅的臉 大大的眼睛 歪斜的嘴 凸起皺紋的前額 雷公似的罵聲 全班的同學都不敢動— 我心裡在想 如果拿一面鏡子給老師照一照 老師一定會哈哈大笑	一面の鏡を先生に先生を照らして必ずもし大笑いすることができて先生は怒って赤いものははにかまない大きい目のゆがんだ口の凸の皺のひたいの雷神の似た罵声全便の同級生は全て一私の心の中を動かして思っていかなます (http://translation.infoseek.ne.jp)	2
老師生氣了。 紅紅的臉， 大大的眼睛， 歪斜的嘴， 凸起皺紋的前額， 雷公似的罵聲， 全班的同學都不敢動— 我心裡在想， 如果拿一面鏡子給老師照一照， 老師一定會哈哈大笑。	先生は怒りました。 赤い顔、とても大きな目、ゆがんだ口、凸の皺のひたい、雷神の似た罵声は、全便の同級生は全て一私の心の中を動かして思っていかなて、もし一面の鏡を先生に照れば、先生は必ず大笑いすることができます。 (http://translation.infoseek.ne.jp)	3
老師生氣了。 紅紅的臉， 大大的眼睛， 歪斜的嘴， 凸起皺紋的前額， 雷公似的罵聲， 全班的同學都不敢動。 我心裡在想， 如果拿一面鏡子給老師照一照， 老師一定會哈哈大笑。	先生は怒りました。 赤い顔、とても大きな目、ゆがんだ口、凸の皺のひたい、雷神の似た罵声は、全便の同級生は全て動きかねます。 もし一面の鏡を先生に照れば、先生は必ず大笑いすることができると、私の心の中は思っています。 (http://translation.infoseek.ne.jp)	4

<p>老師生氣了 紅紅的臉 大大的眼睛 歪斜的嘴 凸起皺紋的前額 雷公似的罵聲 全班的同學都不敢動— 我心裡在想 如果拿一面鏡子給老師照一照 老師一定會哈哈大笑</p>	<p>先生は怒りました とても赤い顔 とても大きい目 斜めの口 しわの額に盛り上がります 雷様は音をののしります 全クラスの同級生がすべて勇気がなくて動きま す— 私の心の中は考えています もしも1枚の鏡を持って先生にちょっと 先生は必ずハッハッと大笑いします (https://www.excite.co.jp/world/chinese/)</p>	5
<p>老師生氣了 紅紅的臉 大大的眼睛 歪斜的嘴 凸起皺紋的前額 雷公似的罵聲 全班的同學都不敢動— 我心裡在想 如果拿一面鏡子給老師照一照 老師一定會哈哈大笑</p>	<p>先生は怒っていた。 赤い顔。 大きな目だ 歪んだ口。 しわが上がった額 雷のような誓い クラスの生徒は皆、移動するのを恐れています。 私は心の中で考えていた 鏡を撮って先生に絵をあげると、 先生は笑っているに違いない。 (https://translate.so-net.ne.jp/)</p>	6
<p>老師生氣了 紅紅的臉 大大的眼睛 歪斜的嘴 凸起皺紋的前額 雷公似的罵聲 全班的同學都不敢動— 我心裡在想 如果拿一面鏡子給老師照一照 老師一定會哈哈大笑</p>	<p>先生怒った 真っ赤な顔 大きな瞳が 歪んだ口 疣しわの額 雷神のように罵声 クラスの学友はすべて動かない— 私の心の中の考え もし鏡を持って先生に照らしてみる 先生はきっと笑う (https://fanyi.baidu.com/)</p>	7
<p>老師生氣了 紅紅的臉 大大的眼睛 歪斜的嘴 凸起皺紋的前額 雷公似的罵聲 全班的同學都不敢動— 我心裡在想 如果拿一面鏡子給老師照一照 老師一定會哈哈大笑</p>	<p>先生は怒っている 赤い顔 大きな目 口を傾けた 皺を起こした額 いびきのような雷 同級生は動くのを恐れている— 私は思っている 鏡を持って先生に写真を渡すと 先生は笑うでしょう。 (https://translate.google.com.tw)</p>	8

5. 翻訳の技法

翻訳の技法には順訳、倒訳、分訳、合訳、意識、加訳、簡訳・減訳、反訳などが挙げられるが、授業中、一々挙げるのではなく、一段落

授業が進んだ後、次のようにまとめて説明する。

(イ) 順訳 起点言語と目標言語の語順・語法を一致させるように訳していくことである。

(61) 這是台灣製造的自行車。

これは台湾製の自転車です。

(ロ) 倒訳 語やクローズやセンテンスの順序を変えて訳すこと。

倒訳の主な原因は文法、修辞、習慣である。中国語はSVO型で、日本語はSOV型なのである。日中両言語は語順が異なり、表現の仕方にも違いがあるのでこの技法は重要である。

(62) 所謂的「安倍經濟學」乃是對於日本自由民主黨政治家安倍晉三的安倍內閣所揭示的一連串經濟政策的通稱。

いわゆるアベノミクスとは、自由民主党の政治家・安倍晋三の内閣の一連の經濟政策に対して与えられた通称である。

(ハ) 分訳 一つのクローズやセンテンスをいくつかに分割して訳す。日本語の長い連体修飾語を中国語に翻訳する場合、被修飾語を主語に立てた主述文として独立したセンテンスにすることが多い。合訳の逆の技法である。

(63) 不過，根據MoneyDJ新聞2015年7月30日的報導，安倍晉三回任日本首相後，推出的三枝箭經濟改革政策非但沒有讓日本經濟起死回生，成長率可能比通縮時期還不如。

しかし、MoneyDJ 2015年7月30日の報道によると、安部晋三はもう一度首相になった後、三本の矢の經濟改革政策を出したが、それによって日本經濟が回復しなかっただけでなく、經濟成長率がデフレ時期よりひどいかもしれない。

(ニ) 合訳 翻訳の際に、原文のいくつかのクローズやセンテンスを一つにまとめて訳す。分訳の反対の技法。

(64) 問他們「為什麼你認為巴士是往左邊開呢？」

他們回答說：「因為要上車看不到門」。

「なぜバスは左へ進むと思うの」と聞かれたら、彼らは「乗ろうとしたらドアが見られないのだ」と答えた。

(ホ) 意訳 意訳とは原文の一語一語にとらわれず、全体の 意味やニュアンスをくみとって翻訳することである。

(65) 不為五斗米折腰。

僅かな俸禄のために腰を曲げはしない。

(ヘ) 加訳 原文にない言葉を付け加えて訳す。減訳の反対の技法。

(66) 沒想到，卻在山地門到霧台的鐵牛車上，結識了一位叫作『熊』的山地青年杜先生。閒談中，我被他的村名『好茶』迷住了。ところが、思いがけず山地門から霧台に向かうトラクターの上で、「シオン」という名前をもつ少数民族の青年、杜さんと知りあった。話をしているうちに、彼の村の「好茶」という名前にひかれて行ってみたくなった。

(ト) 簡訳・減訳 原文にある一部の言葉を訳さない。原文の意味を損なわないという前提のもとに訳文を分かりやすく的確な表現にする。加訳の反対の技法である。

(67) 不多時，幾滴抑不住的淚水答答地滴在筆記本上。

そのうち、抑えきれず涙がポタポタとノートの上に落ちた。

(チ) 変訳 翻訳の際に原文の中の一部の品詞を変えたり、文の成分を変えたりすること。

(68) 熊是很不會勉強別人，尊重別人的人。

シオンは人に無理強いをしない、人の気持ちがわかる人だった。

(リ) 反訳 「肯定形+肯定形」の表現を「否定形+否定形」の表現にしたり、またはその逆の処理をしたりすることを言う。主に仮定や条件を表わす従属節とその結果や結論などを表わす主節において両方とも肯定で表現するか、それとも両方とも否定で表現するかの問題である。

(69) 我盡量張大嘴巴。我發現這是控制出聲的辦法。

私はできるだけ口を大きく開けた。これは声が出ない方法だと気づいた。

また、異化と同化という翻訳技法も取り上げて紹介するが、思うには、起点言語の言語的・文化的な特質に合わせて翻訳する異化でも目標言語の言語的・文化的な特質に合わせて翻訳する同化でも日本語力が翻訳者の基本条件である。

6. おわりに

社会文脈化の観点から見た場合、日本語による母文化の記述能力は日本文化の学習と同じように大切なので、筆者は1996年に「地域別日本語教育学」の構想を提出し、2006年に台湾日本語教育学体系⁵を考案して、「台湾と日本社会・文化」、「台湾と日本語」、「台湾人と日本語」の項目を提示した⁶。そして中国語を日本語に訳す「翻訳実務」の授業では、台湾事情の日本語表現を指導内容にしている。日本での日本語学習とは違って、台湾での日本語学習は日本での発話場面の練習をしても臨場感がないし、非現実的なものになる恐れがある。日本語の情報をキャッチして日本事情が分かり、また台湾事情を日本語で発信できるような能力を育成しようとするならば、社会的文脈を考慮に入れた日本語教育活動が必要である。台日比較文化の視点による日本語教育活動が多く進められれば、台日異文化交流に対する意識が高まり、日本能力の向上にも繋がる。中日翻訳の授業はまさに学習者の生活環境の社会的文脈を重視する授業の具現化の一つであるが、『華日翻譯』のような教材が学習者のプラスになることができれば幸いである。

参考文献

中島清明 (2015)「中日翻訳教育教材からみた翻訳授業の構成－既習事項の復習の場ともとらえて」『中日文化論叢』32、中国文化大学、台北、61-78 頁

⁵ 頼 (2006) を参照されたい。

⁶ 頼 (2012) ではあらためて「台日文化交流能力には日本文化理解力と日本語による台湾文化表現力」が含まれている、と主張した。

- 縫部義憲(2001)「言語文化教育学としての日本語教育学の学的構築」
『広島大学日本語教育研究』11号、広島大学、広島、23-31頁
- 頼錦雀(1996)「地域別日本語教育学への提言—『台湾日本語教育学』
を例として」『中華民國日語教育學會第二屆第四次論文發表會論
文集』、中華民國日語教育學會、台北、201-225頁
- 頼錦雀(2006)「台湾における日本語教育学の体系構築試案」『台湾日
本語教育論文集』10号、台灣日語教育學會、台北、91-117頁
- 頼錦雀(2011)「日本語教科書における日本文化理解—『日本語を学
ぼう@Taiwan』を例に」『台灣日語教育學報』第17号、台灣日
語教育學會、台中、1-27頁、
- 頼錦雀(2017)「日本語学習者に求められる異文化交流能力の育成と
測定—台湾人の場合」第11回OPI国際シンポジウム台湾大会、
淡江大學、台北
- 頼錦雀(2018)「台湾の日本語教育における文化指導—日本文化と自
文化を中心に」『台灣日本語文學報』44、台灣日本語文學會、台
北（編輯中）
- 頼錦雀(2018)「台湾における中国語文化詞の日本語訳」2018年靜宜
大學外國語文學院「第一屆翻譯研究・第二屆台日兒童文學研究」
國際學術研討會、靜宜大學、台中
- 林長河(2014)「龍山寺を例にした自国文化を説明する日本語教育の
模索—語学教育理論の応用と課題」『台灣日本語文學報』35、台
灣日本語文學會、台北、351-374頁
- 林長河(2016)「台湾日本語学科の自国文化に関する科目のコースデ
ザイン—現状と課題」『台大日本語文研究』32、台湾大学、台
北、137-163頁